



ぱたぽん通信

制作：東野小 学校応援団ぱたぽん 発行：PTA会長 藤田 夕子

2024年
2月号

2月21日（水）に今年度第7回の読み聞かせをおこないましたので、お知らせします。

1-1 きょだいなきょだい



作：長谷川 摂子
絵：降矢 なな
出版社：福音館書店/1994年

「あったとさあったとさ・巨大なピアノがあったとさ」。巨大なピアノに石けん、扇風機など巨大な〇〇と100人の子どもが思いきり遊ぶ、楽しい絵本です。

(坂本 香奈)

2-4 ともちひきとりや



作：内田 麟太郎
絵：降矢 なな
出版社：偕成社/2002年

桜井遊先生が読んでくださいました。

1-2 11ぴきのねこ



作：馬場 のぼる
出版社：こぐま社/1967年

11ぴきののらねこたちは、いつもおなかぺこぺこ。ある日、湖に大きな魚がいると教えられ出かけていきます。大格闘の末、やっと怪魚を生け捕りにしますが・・・

他『わたしのワンピース』こぐま社
(川村 亜矢子)

3-1 ぼく、まってるから



作：正岡 慧子
絵：おくら ひろかず
出版社：フレーベル館/2013年

ねずみくんとまくんが春に出あい なかよしになりました。ある日まくんはとつぜん ねむってしまい、ねずみくんはまくんが 目ざめる春までまつことに。

(唐 勝子)

1-3 うどん対ラーメン



作：田中 六大
出版社：講談社/2016年

うどんとラーメンはある日、どちらの方がおいしいのか決着をつけるために対決をすることに！はたしてどちらが勝つのでしょうか・・・？

(筏井 敦子)

3-2 ティリーとかべ



作・絵：レオ・レオニ
訳：谷川 俊太郎
出版社：佑学社/1990年

ティリーと仲間のねずみがかべのむこうの世界に興味をも 持って穴をほってむこう側に行くお話し。むこうの世界はどんなかな？

(河東 友子)

1-4 ゴリラとたいほう



作：なまち さぶろう
絵：こばやし ゆうじ
出版社：福武書店/1983年

サルのくにの国では、らんぼうなゴリラが王さまでした。ある日、となりの国をさんばしたら、だれからもあいさつされません。おこって、けらいにたいほうをうちこむようにいます。

(栗谷 陽子)

3-3 クマとオオカミ



作：ダニエル・サルミエリ
訳：やまぐち ふみお
出版社：評論社/2021年

あるよる。ゆきがしんしんと ふる もりで、クマとオオカミが であります。自然のなかで、宝物のような時間をすごします。

(若杉 純)

2-1 くわすにようぼう



再話：稲田 和子
絵：赤羽 末吉
出版社：福音館書店/1980年

むかし、よくばりのおとこが「めしくわぬ にようぼうがほしい」といった。そうしたら、うつくしい むすめが「おらは めしくわぬ おなごだ。あんたのにようぼうに してくんろ」おとこは しょうちした。だけど・・・

(上野 邦晴)

3-4 こんとあき



作：林 明子
出版社：福音館書店/1989年

あきがうまれてから ずっといっしょに すごしてきた きつねの こん。ほころびをなおしに、あきと おばあちゃんのいる さきゆうまちへ。こんとあきの はじめてのたびです。

(佐藤 法子)

2-2 い〜れ〜て!



作：中川 ひろたか
絵：市居 みか
出版社：金の星社/2020年

絵を描くのが大好きなぼくは、クラスの友達と遊ぶのが苦手。でも全然さみしくない！だってぼくには絵の友達がいるから。そんなぼくは今日も絵を描いて・・・

他『ちいさいきみとおおきいぼく』ポプラ社
(小林 伸恵)

4-1 紙芝居 花ぬのむすめ



脚本：とき ありえ
絵：尾崎 曜子
出版社：童心社/2014年

昔、中国の村にホワピンという機織りが上手な娘がいました。ある日ホワピンの織る布の評判を聞いて、大臣が やってきてホワピンを宮殿につれていきました。

(川畑 けい子)

2-3 ぼくのがっこう



作：鈴木 のりたけ
出版社：PHP研究所/2021年

毎日通っている同じ学校。たまには違う学校に行ってみたい！？こんな学校あったら面白い、子ども達の愛が詰まったお話が描かれている作品です。

(末廣 祐里)

4-2 せかいでいちばんつよい国



作：デビッド・マッキー
訳：なかがわ ちひろ
出版社：光村教育図書/2005年

せんそうをして世界をせいふくしようとしていた大きな国が、小さな国へ、せんそうに行きましたが、この国は、へいたいがいけません。大きな国のへいたい達をかんげいしてくれました。さて、どうなるのでしょうか・・・

(西澤 美穂子)

4-3 おおかみと七ひきのこやぎ



作：グリム童話
 絵：フェリクス・ホフマン
 訳：瀬田 貞二
 出版社：福音館書店/1967年

おおかさんのるすに、おおかみにだまされた子やぎ。さいごはどうなるのでしょうか。かしこいおおかさんとお話し。

(北原 純子)

4-4 落語絵本 はつてんじん



作・絵：川端 誠
 出版社：クレヨンハウス/1996年

いたずらっ子の金坊と、父ちゃんの会話の楽しいお話です。何かかってもらいたい金坊と、お金を使いたくない父ちゃんのやりとりや、買ってもらった凧でもひともんちゃく・・・

(藤田 佳子)

5-1 むらの英雄



文：渡辺 茂男
 絵：西村 繁男
 出版社：瑞雲舎/2013年

昔、村の12人の男達が町へ行った帰り道、一人が仲間を数えてみたらなんと11人しかいない！いなくなった一人とは・・・ユーモアと底抜けの明るさが平和で楽しい話。

他『だれのせい？』green seed books
 (相馬 佳奈)

5-2 ママ!



作：キム・フォックス・オーカソン
 絵：高畠 那生
 訳：柘谷 玲子
 出版社：ひさかたチャイルド/2011年

僕の悩みはママが太っていること。恥ずかしさに耐えられなくなった僕は、隣の家の子になることにしたけれど・・・

(金藤 沙智子)

5-3 ほんとはスイカ



文：屋田 弥子
 絵：高畠 那生
 出版社：プロンズ新社/2015年

街に現れたイカは、「ス」をどこかに落としてしまい、見た目にはイカになってしまった。そこから色々な文字を拾ったり外したり・・・言葉あそびのように変化し、最後は真の姿に戻ります。

他『まゆとおに』福音館書店
 (増田 真弓)

5-4 クールなマメ イケてるトリオとイケてないボク



作：ジョリ・ジョン
 絵：ビート・オズワルド
 訳：鈴木 沙織
 出版社：化学同人/2022年

クールなトリオは学校中の人気者。僕もそうなりたいけど、人気者どころか笑いのもの。本当のかつこよさってなにかを気づかせてくれる絵本です。

(後藤 順子)

6-1 モチモチの木



作：斎藤 隆介
 絵：滝平 二郎
 出版社：岩崎書店/1971年

豆太は爺さまとふたり、峠のりょうしゅう小屋に暮らしていた。五つになっても、夜中に一人で小便にも行けない豆太。ある夜爺さまが倒れて、泣きながら医者さまを呼びに行った。その帰りに、豆太が見たものは・・・

(桐生 太美)

6-2 はじまりの日



作：ボブ・ディラン
 絵：ポール・ロジャース
 訳：アーサー・ピナード
 出版社：岩崎書店/2010年

ボブディランの名曲「フォーエバーヤング」の絵本。「毎日かきみのはじまりの日。」子どもを思う温かな詩を卒業間近の6年生に届けたく、心を込めて読みました。

(菅原 幸子)

6-3 がっこうに まにあわない



作：ザ・キャビンカンパニー
 出版社：あかね書房/2022年

もうがっこうにまにあわない。ねぼうしたぼくはがっこうへの道をいそぐ。今日はぜったいにちこくしてはいけない日なのに・・・まにあうかなあ。

他『ぼくとがっこう』アリス館
 (飯村 愛子)



本年度も校内および校外のボランティアさん、PTAの読み聞かせ係のみなさま、担任の先生方のおかげで子供たちに全7回の読み聞かせを実施することができました。ありがとうございました。

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！
 在校生のみなさん、来年度もぜひお楽しみに！



ばたぼん卒業メンバーからのメッセージ

今年度卒業するばたぼんメンバーからのメッセージをお届けします。
 いつも子供たちのことを考え、すてきな絵本を読んでくださり、ありがとうございました！



松本 幸恵さん

東野小で読み聞かせの活動をさせていただき10年、児童のみなさんと素敵な時間を共有できた事に感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。



菅原 幸子さん

7年前からこの活動に参加しています。東野小の皆さんはいつも真剣に聞いてくれるのが嬉しいです。朝から元気をもらえるので毎月楽しみです。娘は卒業しますが、これからも続けていけたらと思っています。宜しくお願いします。